

原発ゼロをめざす長野県連絡会

第24号
2015.3.12

事務局 〒381-0034 長野市高田 276-8 長野県労連内
TEL 026-223-1683 FAX 026-227-1783
ホームページ <http://w2.avis.ne.jp/~km-jim2>

原発再稼働反対、つながろうフクシマ、ひろげよう脱原発、県内各地で行動

【3.8 松本】

3月8日、松本城にて「4年目の3・8～つながろうフクシマ！ひろげよう脱原発！、原発再稼働反対！ in 松本」が700人の参加で開催されました。アルパ演奏と合唱。ムジカコンパスと狭間由佳さんのステージ、刈羽原発差し止め訴訟原告団の水谷さんと信州大学2年生松本友子さんの発言。松本さんが被災した福島県檜葉町はこの春から帰還可能宣言。「町への帰還」「東京オリンピック」など、うわべだけの「復興」を推し進め、実際の、福島県民の生



活とところは、復興にはほど遠い現状。福島は復興は、国と東電が事故の責任を認め、全国の原発をなくすことから。被災者が恐れ、傷つくのは「忘れられること」。年月と共に関心が薄れるのは当たり前。だからこそ長期的な問題として福島発信・共有を意識的に取り組む努力を！これからも原発事故・福島をあきらめない、共に声を上げ続けていくと宣言。会場全体の大きな決意となりました。

【3.8 長野】

「つながろうフクシマ！ひろげよう脱原発！3・8長野行動」には350人が集まりました。黙祷ののち、実行委員会共同代表の田澤洋子さんと本道多加子さんが挨拶。4年が経過してもいまだに福島原発事故の収束の見通しもなく、それどころか



汚染水漏れなどの被害の広がっていることを厳しく批判し、原発再稼働反対、脱原発の声をもっと上げていこうと呼び掛けられました。「子ども信州ネット・北信」の斉藤さんから取り組みの報告があり、川内原発再稼働に反対する鹿児島からアピール」が紹介されました。参加者からのアピールでは、マブソン青眼さん、細尾高教組委員長、NPT会議のニューヨーク行動参加者等々からの熱い思いの発言が続きました。参加者はデモ行進で訴え、沿道の市民の皆さんからも激励をうけました。